

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年8月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677600126
法人名	社会福祉法人 誠心会
事業所名	グループホーム南松園
所在地	鹿児島県肝属郡錦江町田代川原430-1 (電話) (0994)25-2364
自己評価作成日	平成26年5月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年6月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

◎地域との関わりが途切れないように地域住民との交流、行事参加、社会資源の活用を積極的に推進している。

◎介護の重度化が進む中、近隣にあるクリニックと医療面の連携を図り健康で安心した生活を送れるよう取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは、田園が広がる自然豊かな地区の中心地に設置されており、近くに中学校、小学校、幼稚園、保育所、郵便局、商店等がある。同法人の運営する特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所等と隣接して設置されていて、相互に連携・協力し合える体制が構築されており、防災訓練や、研修会、運動会やグルメ旅行等は法人全体で取り組んでいる。サービス向上を図るため、法人の全職員が各種委員会(身体拘束、排泄、感染、洗濯、安全等8項目)のいずれかに属して、部門ごとに研鑽に努めている。協力医療機関も隣接しており、利用者や家族の安心に繋がっている。

○管理者及び職員は、利用者が住み慣れた地域の中で家族や友人知人と関わり合いながら、その人らしく穏やかな生活が過ごせるように、利用者の尊厳を大切に、気持ちに沿ったきめ細かな支援に努めている。理念に加えケアの姿勢として「笑顔による対応、声掛け、あいさつ」を掲げ、その実践に努めている。

○地域との交流は、地域や小学校、幼稚園等が実施する行事へ積極的に参加しており、また法人及びホーム主催のイベント等には地域住民の多数の参加があり、交流の場となっている。また、園庭や花壇等は、日頃から住民の自発的な奉仕作業により、多くの花や野菜が植えられていて、利用者は季節を感じながら散歩や収穫を楽しんでいる。野菜等の差し入れや面会等も多く、日常的に円滑で活発な交流が図られている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念を事業所内に掲げ、職員全員が理解し、日々のサービスに活かすよう取り組んでいる。	開設時に作成したホーム独自の理念に沿って、利用者の尊厳を大切に、日々思いやりのある支援に取り組んでいる。理念は、ケアの基本姿勢（笑顔での対応、声掛け、挨拶）と共にホール及び事務室の壁面に掲示し、朝礼や夕方の申し送り時に全員で唱和して共有を図っている。また月1回開催の「職員会議」でも随時研修を実施して、理念の理解とより良いケアにつながるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のイベントや他事業所の行事に参加したり、地域住民とお茶会を行ったりするなど積極的に交流している。	保育所、幼稚園の運動会の見物や地域有志主催の夏祭りに出かけて談笑したり、また法人全体で開催する「運動会」や「夏祭り」、「グルメ旅行」等の行事には家族の参加もあり、交流やつながりを大切に支援を行っている。畑や園庭の整備のボランティアや幼稚園児の来訪による談笑、買い物や散歩時の挨拶、友人等の面会、また地域の人が野菜等を届けてくださる等、日常的に円滑な交流がなされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族や地域の方の来園時などに、認知症に関する相談や、アドバイスなど行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者のご家族、近隣住民や行政の方々の参加の中で、一方的な説明をするのではなく、意見交換できる時間を設け、サービスの参考としている。	会議は家族、地域住民、行政、消防署の職員等の参加を得て、定期的で開催されている。ホームの現況や行事・問題点への取り組み状況、外部評価の結果等の報告がなされると共に、委員からはケアに関する質問や意見等が出され、内容は職員にも十分に周知が図られて、具体的に家族や地域との交流や日々のサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者と連絡を取り合う中で、当園の状況を説明することもあり、運営推進会議で詳細に伝えている。	市担当者には毎回の運営推進会議に出席して頂くとともに、日頃から市の担当者を訪問して、現況報告や各種の手続きに関する事及び施設の運営やケアに関する相談や意見交換を行うなど協働関係が築かれている。これらを利用者のサービス向上に反映させている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を職員全員が理解しており、研修参加により知識向上を図っている。	高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修を「身体拘束排除マニュアル」を基に法人全体で実施し、またホーム独自でも職員会議時に積極的に議題にして理解を深めている。日々の支援の中で身体や言葉による拘束の無いように職員相互で喚起しあって、ケアの質の向上に努めている。外出したがる利用者には、同行して近隣の散歩やドライブで安定を図る等、利用者の気持ちを大切に暮らしたるの支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今のところ外部研修で学ぶ機会はないが、法人内勉強会で研修を行うことがある。全職員は、虐待の意識を持っており、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今のところ学ぶ機会が乏しい。今後、検討していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書・契約書を利用者様・ご家族の前で説明し、十分納得して頂いた上で契約を結んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	事業所内に意見箱を設けている。また、面会の際に要望や意見を伺うようにしており、改善すべきことがあれば職員会にあげている。	利用者の思いや意見は声かけや所作の見守り等で把握に努めるとともに、ご家族とは主に来訪時の対話や電話等で、話しやすい雰囲気作りを図り意見を頂くようにしている。それらは申し送りや毎月の職員会議で内容を共有し、対応を十分に話し合い、改善に努め、結果は速やかに本人や家族に報告してケアへの反映に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的な会議により、意見や提案を聞くようにしており、サービスの改善、環境整備等につなげている。	職員の意見や要望等は、「職員会議」や日常のケアの中及び申し送り時等に、また内容によっては職員個々に合わせた声かけも行う等、話しやすい雰囲気作りに努めて把握し、管理者はこれらを業務改善や利用者へのサービス向上に反映できるように取り組んでいる。特にケアに関することは、職員の意見を十分傾聴し全員で検討して、質や意欲の向上に繋がるように努めている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	給与規程を整備している。また、有給休暇の取得や、休み希望願いなど快く話ができる雰囲気をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験、技量をみながら、本人に適した質の高い研修に参加させるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣に事業所が少ないこともあり今のところ交流する機会が乏しいが、環境づくりに努めていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に、本人の不安な点や要望等を聞くようにし、サービス、生活環境の改善につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前に、家族の不安な点や要望等を聞くようにし、信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用前に、本人や家族の不安な点や要望等を聞くようにし、専門職の視点から必要な支援を助言している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理作りや野菜作り、日常の作業などをいっしょに行い、常に会話をするよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へ月に一回、手紙を送り近況を伝えている。利用者の状態に変化があれば、必要に応じて家族へ来園してもらうなど配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけだった店を利用したり、入所前暮らしていた自宅周辺をドライブしたりするなど、支援している。	利用前に本人や家族から、生活歴、病歴、地域の人との交流状況、趣味、嗜好等の聞き取りを行い「引き継ぎノート」に記載して情報を共有しており、本人の希望に沿って行事への参加や買い物、馴染みの人や場との関係継続に家族と連携して支援している。遠方に居住している家族とは電話や手紙の取り次ぎ等により関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりに声かけを行い、利用者みんなで会話できる雰囲気をつくっている。また、みんなで楽しめるレクリエーションを工夫している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設入所や、病院入院による退所の場合などでも、気軽にホームに遊びにきて頂くよう声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしのなかで、本人の希望を聞いたり、職員が気付いたことを記録している。	職員は日頃の利用者の表情や言動、またご家族からの情報を基にして、思いや意向をくみ取るように努めている。申し送りや「ケース記録」「引き継ぎノート」等で情報の共有を図り、家族とも相談しながら、利用者にとってよりよい支援となるようにケアプランにも反映させて日々改善に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用前に、本人、家族から聞き取りを行い生活歴、環境などを把握している。また、サービス利用の中で、新たに気付いたことがあれば随時記録している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の観察を行い、気付いたことは記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、家族、関係職員で意見交換し、改善すべき課題、介護方法をあればそれを反映させた介護計画を作成している。	モニタリングを3カ月毎に実施し、介護計画は利用者及びご家族の思いや意見を十分に聞き取り、また、主治医や職員の意見も基にして利用者本位のものを作成している。支援の経過はケース記録に丁寧に記入されており、利用者の実態に沿った計画の見直しや修正を適切に行っている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常生活の観察を行い、気付いたことは記録してし、職員間で情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者や家族のニーズを把握し、専門職の視点から、様々な支援、アドバイスなどを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣は地域資源に乏しいが、利用者が要望する資源があれば、利用できる支援を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は、本人と家族の意向を尊重しており、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>利用者個々の利用前の病歴や受診の経過は十分に把握され、本人や家族が希望する医療機関での受診を支援している。基本的に通院は職員または家族が同行し、月2回の訪問診療も実施している。受診の経過は受診記録簿に整理され職員で共有するとともに、ご家族との連携も適切に行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の中で気付いたことや気になることを、連携している訪問診療の看護師に伝えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>地域の病院担当者と顔見知りになり、連絡を取り合うようにしている。情報交換や相談を行うことで、円滑な病院利用に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期の対応について、本人や家族、かかりつけ医、職員などで意見交換し、希望に添うように努めている。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、利用開始時にホームの方針を説明して理解を得ている。重度化した時点で、家族の希望や主治医及び職員の意見等を参考に十分話し合いを実施して対応しているが、これまで看取りの事例は無い。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変、事故発生時に対応できるよう、職員勉強会を行ったり、地域の講習会に随時参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近隣の方も参加した火災避難訓練を定期的に行っている。避難マニュアルを定期的に見直している。</p>	<p>消防署との連携により年2回は主に火災を想定した避難・消火・通報訓練を法人全体で実施している。また、年4回の自主訓練（夜間想定）を地域住民も参加して実施し、消火器等の取扱いや避難経路の確認の研修も実施しており職員の意識も高い。スプリンクラーや自動通報装置、自家発電等の設備も充実し、食料や飲料水・関連備品（卓上コンロ、懐中電灯）の準備にも十分に配慮がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重したサービス、丁寧な言葉かけを全職員で行っている。	利用者の誇りやプライバシーを損ねる事のないように、丁寧な声かけや対応を日常的に心掛け、また、職員会議や申し送り時に繰り返しケアの方法等を研修している。利用者の人格や感性を大切にして、利用者のペースに合わせた対応となるような支援に努めており、入浴や排泄時の配慮や個人台帳等の管理も適切に行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話では、利用者の希望や意見を引き出すよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは計画しているが、利用者の体調や意向、状況などに合わせて変更している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の衣服は本人になるべく選んでもらっており、外出時は化粧も手伝っている。年に数回は衣服の買い物へ出かけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者といっしょに食事を作ったり、楽しい会話のある食事を行ったりするよう心がけている。	利用者の嗜好、食事形態、疾病や服用中の薬との影響等を十分に把握して、利用者の希望を取り入れながら、差し入れの野菜や施設の菜園の野菜も活用して食事づくりに努めている。季節感のある食材や行事食、グルメ旅行等の外食、園庭でのお茶等、食事を楽めるように工夫しており、年末のそば作りや日常の食材の下ごしらえや下膳等は利用者も一緒に楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量など毎日記録して、栄養に問題がないか気を付けている。また、施設の管理栄養士に助言をもらったりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きや、入れ歯洗浄を行うよう声掛けし手伝っている。口腔状態も常に確認している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の声かけや、トイレ誘導を実践し、なるべくおむつに頼らないよう支援している。	利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように、排泄チェック表を活用して、不安や羞恥心にも十分配慮しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。利用者個々に合わせた適切な対応になるように職員が十分に話し合い、ケアプランにも組み込んで実践に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状況を記録しており、便秘の方には、水分補給や、食事内容等配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	計画的な入浴を行っているが、希望や体調不良等あれば臨機応変に入浴できるよう支援している。	利用者の体調や希望に配慮しながら、時には清拭やシャワー浴も含めて週に3回の入浴を支援している。入浴を拒否される場合には、無理強いしないで、声掛け方法や時間、職員の変更など工夫して入浴への意欲を高めるようにしている。同性の介助希望、好みのシャンプー、ゆず湯や入浴剤の使用等利用者の気持ちを大切に支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的な一日の流れは計画しているが、利用者の体調や意向、状況などに合わせて変更している。消灯時間も決めずに好きな時間に、体調に合わせて休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を適切に服用できるようホームにて管理している。また、処方箋を整理し、いつでも職員が内容を確認できるようにしている。随時、薬剤師の指導も受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや洗濯物整理など、その人にあった役割をお願いしている。また、趣味も楽しめるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の希望を尊重した、遠足、ドライブ、ショッピング、自宅への宿泊など、様々な場所への外出支援を行っている。	利用者の健康状態や天候を考慮しながら、近隣の散歩、ドライブ、園庭での日光浴等を日常的に楽しんで頂いている。また利用者の希望も確認しながら買い物や墓参りに同行して地域の人と交流するなど、外出が楽しみなものになるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	日常生活では使用する機会がないが、外出ショッピングでは一人ひとりがお金を所持し、好きなものを買うよう支援している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望があれば、電話や手紙のやり取りを支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居心地よく過ごせるよう、シンブルなリビングとしている。また、季節感を取り入れたさりげない飾りを工夫している。	広い敷地には花壇や菜園も配置され多くの季節の花や野菜が栽培されていて散歩や収穫を楽しんでいる。リビングには天窓があり、ゆったりと明るく、テーブルセットやソファ、畳のスペースが配置されており、好みの場所で自由に寛げる工夫がなされている。室温や換気にも十分な配慮が感じられ、不快に感じる音や臭い等もなく清潔に整頓されている。随所に利用者と職員合作の置き物や折り紙等の作品が飾られ、和やかな雰囲気づくりの配慮がされている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	居間を広く取り、ソファでくつろぎながらテレビを見たり、友達同士が会話できるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者や家族と相談して、自宅で使用していた馴染みのものや装飾品などを持ち込んだり、家具の配置を変えたりするなど、安心して暮らせる居室となるよう配慮している。</p>	<p>各居室に洗面台、エアコン、クローゼットが備えてあるが、本人やご家族の希望により家族写真、使い慣れた小物、置物等を自由に持ち込んで頂き、その人らしく好みに応じた配置をされるなど、家庭と同様に落ち着いて過ごせるような居室づくりに支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者が安心して生活できるよう、建物内部の配置を工夫したり、大きな字で掲示したり、行動されるときはその人の理解度に合わせて適時声掛けを行うなど工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない